

(様式1)

鶴教総第118号

令和7年4月21日

文部科学大臣 殿

鶴ヶ島市長 齊 藤 芳 久

施設整備計画の事後評価について

学校施設環境改善交付金交付要綱第8に基づき、下記のとおり施設整備計画の目標の達成状況に係る評価（事後評価）の結果を報告します。

1. 施設整備計画の名称

鶴ヶ島市公立学校等施設整備計画

2. 計画期間

令和5年度（1年間）

（担当）

担当部署名：教育委員会教育総務課

担当者名：長谷川

住所：埼玉県鶴ヶ島市大字三ツ木16番地1

電話：049-271-1111（内線514）

E-mail：10800010@city.tsurugashima.lg.jp

(様式2)

3. 事後評価の実施

(1) 実施時期

令和7年4月21日 成果指標の評価

(2) 評価の方法

・成果指標を設定して、事業の成果を定量的に把握し、評価する。
目標ごとに以下の指標を設定し、事業の成果を分析して定量的に評価する。

校舎トイレの洋式化率

鶴ヶ島第一小学校	: 45.00% → 74.14%
杉下小学校	: 54.17% → 100.00%
長久保小学校	: 68.19% → 100.00%
藤中学校	: 59.65% → 100.00%

エレベーター設置年数

鶴ヶ島第二小学校: 30年目 → 1年目

4. 総合的な所見

施設整備計画の目標はおおむね達成できた。
特に、小・中学校のトイレ改修工事については、トイレの洋式化及び床の乾式化を行ったことにより、利用時や清掃時の不快感が解消され、児童・生徒や保護者から好感触を得ている。また、未改修の職員用トイレも対象としたことで、教職員から高い評価を得ており、目覚ましい効果を上げていると言える。

5. 各目標の達成状況

(1) 老朽化対策を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(2) 新時代の学びを支える安全・安心な教育環境の確保を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

市内小・中学校4校のトイレの洋式化及び床の乾式化等を行い、衛生環境の改善を行うとともに、災害時に避難所として使用する学校の整備を図った。
市内小学校において、老朽化した既存エレベーターを更新し、バリアフリー環境の確保を図った。

(3) 教室不足の解消等を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(4) 教育環境の質的な向上を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(5) 施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

6. 改築後の危険建物等のとりこわし状況

(様式3)

7. 事業ごとの実施状況

学校等の名称	目標	事業 区分	整備方針				事業完了 年月日	(実施しなかった場合) 未実施の理由・今後の対応予定等	備考 (改築事業は、旧施設の とりこわし時期を明記)
			事業単位	建物 区分	構造 区分	全事業期間 (契約～完成)			
鶴ヶ島第一小学校	(2)	06	大規模改造(トイレ)	校		R6.9～R7.2	R7.2.28		
鶴ヶ島第二小学校	(2)	06	大規模改造(バリアフリー)保有2000㎡	校		R6.4～R6.9	R6.9.30		
杉下小学校	(2)	06	大規模改造(トイレ)	校		R6.9～R7.2	R7.2.28		
長久保小学校	(2)	06	大規模改造(トイレ)	校		R6.9～R7.2	R7.2.28		
藤中学校	(2)	06	大規模改造(トイレ)	校		R6.9～R7.2	R7.2.28		